

令和6年度

北しりべし廃棄物処理広域連合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

北しりべし廃棄物処理広域連合
監査委員

目 次

第1 審査の概要	1
1 審査の種類	1
2 審査の対象	1
3 審査の着眼点	1
4 審査の実施内容	1
第2 審査の結果	1
第3 決算の概要	1
1 決算収支	2
2 歳入	3
3 歳出	4
4 財源内訳	5
5 性質別経費	5
6 債務負担行為	5
第4 資金収支の状況	6
第5 財産の状況	6
第6 ごみ処理の状況	7
第7 意見	7

【注】

- 文中及び表中の金額又は数値は、表示単位未満の金額又は数値を四捨五入しています。
そのため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
また、「収入率」や「執行率」などの比率が99.95%以上100%未満の場合は「99.9%」と、100%超100.05%未満の場合は「100.1%」とそれぞれ表示しています。
- 文中及び表中の符号等の用法は、次のとおりです。
「 - 」・・・該当する数値がない又は増減がないもの
「0」、「0.0」・・・該当する数値はあるが表示単位未満のもの
「△」・・・減少
「ポイント」・・・百分率（%）で表された二つ以上の数値の差
「皆増」・・・前年度に該当する数値がなく、全額増加したもの
「皆減」・・・本年度に該当する数値がなく、全額減少したもの

令和6年度 北しりべし廃棄物処理広域連合 一般会計歳入歳出決算審査意見書

令和6年度北しりべし廃棄物処理広域連合一般会計歳入歳出に係る決算審査の実施結果について、以下のとおり意見を付します。

なお、審査の実施に当たっては、北しりべし廃棄物処理広域連合監査基準（令和2年北しりべし廃棄物処理広域連合監査委員告示第2号）に準拠しました。

第1 審査の概要

1 審査の種類 決算審査

2 審査の対象 令和6年度 北しりべし廃棄物処理広域連合一般会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

広域連合長から提出された一般会計歳入歳出決算書その他の書類について、関係法令に従い適正に処理されているか、また、各計数が正確であることを着眼点としました。

4 審査の実施内容

(1) 審査に付された書類（地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項に基づくもの）

- ① 令和6年度 一般会計歳入歳出決算書
- ② 令和6年度 一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- ③ 令和6年度 実質収支に関する調書
- ④ 令和6年度 財産に関する調書

(2) 審査の方法

前記書類の検証を行いました。また、例月出納検査における支出調書類の検査の結果を参考としたほか、必要に応じ関係部署に説明を求め、審査を実施しました。

(3) 審査の期間 令和7年6月30日 ～ 令和7年9月12日

第2 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書その他の書類は関係法令の定めるところに従って作成され、各計数は関係帳簿及び証書類と符合し、正確であると認められました。

第3 決算の概要

決算の概要は、次のとおりです。

1 決算収支

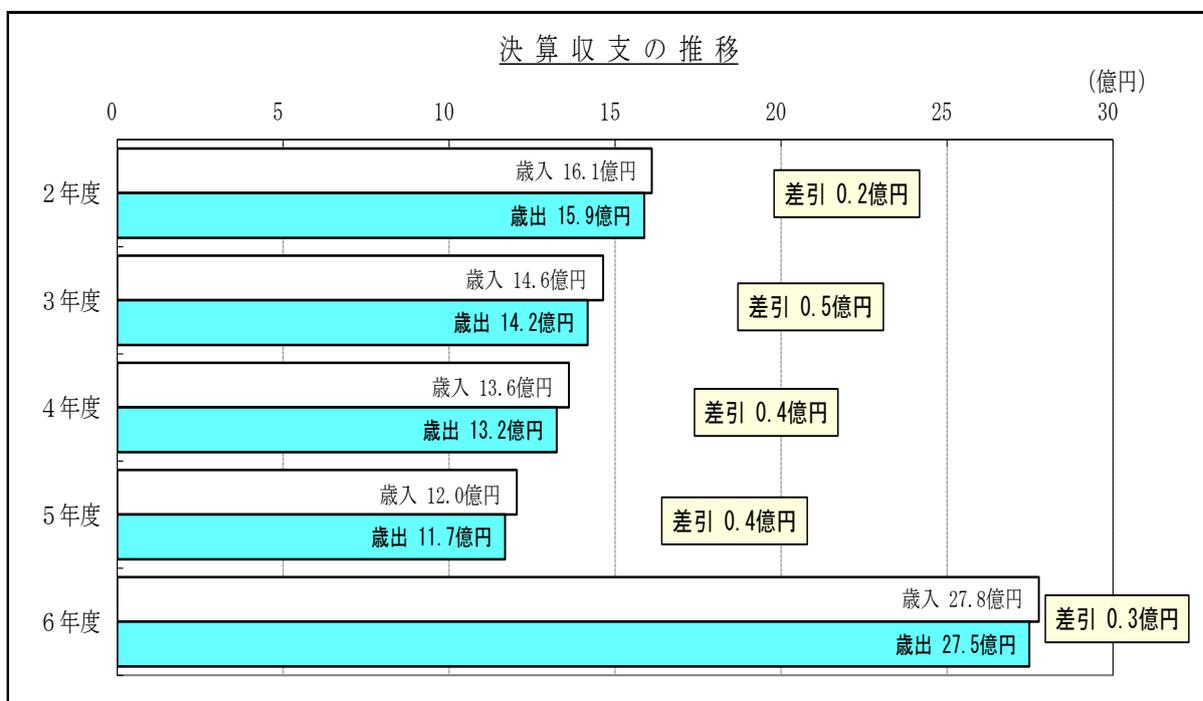
決算収支の状況は、次のとおりです。

区 分	本 年 度	前 年 度	比 較 増 減	
			金 額	比 率
	円	円	円	%
歳 入 決 算 額 (A)	2,777,067,908	1,203,908,277	1,573,159,631	130.7
歳 出 決 算 額 (B)	2,748,093,627	1,168,771,429	1,579,322,198	135.1
歳 入 歳 出 差 引 額 (C=A-B) (形 式 収 支)	28,974,281	35,136,848	△6,162,567	△17.5
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	1,805,000	46,000	1,759,000	3,823.9
実 質 収 支 (E=C-D)	27,169,281	35,090,848	△7,921,567	△22.6
前 年 度 実 質 収 支 (F)	35,090,848	36,774,269	△1,683,421	△4.6
単 年 度 収 支 (E-F)	△7,921,567	△1,683,421	△6,238,146	370.6

本年度は、歳入2,777,068千円に対し、歳出は2,748,094千円で、差引き（形式収支）28,974千円の剰余金を生じ、このうち継続費の財源として1,805千円を翌年度へ繰り越したことから、実質収支は27,169千円の黒字となり、前年度実質収支を差し引いた単年度収支は7,922千円の赤字となりました。

なお、歳入歳出差引額は、前年度と比較すると、歳入の増加額1,573,160千円が歳出の増加額1,579,322千円を下回ったことから6,163千円（17.5%）減少しました。

決算収支の推移は、次のとおりです。



決算収支の推移を見ると、歳入額及び歳出額は、減少傾向にありましたが、本年度はいずれも増加しました。

2 歳 入

歳入決算額は、次のとおりです。

款	予算現額	調定額	収入済額	対予算 収入率	対調定 収入率	対前年度収入済額増減	
						金額	比率
	円	円	円	%	%	円	%
分担金及び 負担金	2,006,766,000	2,006,624,152	2,006,624,152	99.9	100.0	1,065,535,152	113.2
使用料及び 手数料	131,334,000	120,783,727	120,783,727	92.0	100.0	△12,247,579	△9.2
国庫支出金	2,427,000	2,420,000	2,420,000	99.7	100.0	2,420,000	皆増
繰越金	35,183,000	35,136,848	35,136,848	99.9	100.0	△1,637,421	△4.5
諸収入	588,085,000	612,103,181	612,103,181	104.1	100.0	521,211,719	573.4
財産収入	-	-	-	-	-	△2,122,240	皆減
計	2,763,795,000	2,777,067,908	2,777,067,908	100.5	100.0	1,573,159,631	130.7

収入済額を予算現額と比較すると、収入率は100.5%となりました。また、収入済額を前年度と比較すると1,573,160千円（130.7%）増加しました。

分担金及び負担金は、関係市町村からの負担金で、収入済額を前年度と比較すると1,065,535千円（113.2%）増加しました。これは主に、施設管理及び運営費並びに施設建設事業費及び公債費の負担分が増加したためです。

なお、市町村別負担金の推移は、次のとおりです。

区分	6年度	5年度	比較増減		4年度	3年度	2年度
			金額	比率			
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円
小樽市	1,681,451	821,015	860,436	104.8	949,933	1,069,060	1,171,274
積丹町	27,354	8,938	18,416	206.0	10,489	12,974	14,626
古平町	38,860	13,118	25,742	196.2	15,159	18,764	20,555
仁木町	22,364	11,660	10,704	91.8	14,021	15,034	14,856
余市町	222,909	82,252	140,657	171.0	96,155	110,385	117,502
赤井川村	13,687	4,106	9,581	233.3	4,773	5,933	6,942
計	2,006,624	941,089	1,065,535	113.2	1,090,530	1,232,150	1,345,755

使用料及び手数料の内訳は、次のとおりです。

目・節	予算現額	調定額	収入済額	対予算 収入率	対調定 収入率	対前年度収入済額増減	
						金額	比率
	円	円	円	%	%	円	%
衛生使用料	72,000	72,000	72,000	100.0	100.0	-	-
ごみ処理施設使用料	72,000	72,000	72,000	100.0	100.0	-	-
衛生手数料	131,262,000	120,711,727	120,711,727	92.0	100.0	△12,247,579	△9.2
ごみ焼却処理手数料	120,700,000	109,998,159	109,998,159	91.1	100.0	△11,601,499	△9.5
粗大ごみ処理手数料	10,560,000	10,641,568	10,641,568	100.8	100.0	△452,080	△4.1
搬入許可等手数料	2,000	72,000	72,000	3,600.0	100.0	△194,000	△72.9
計	131,334,000	120,783,727	120,783,727	92.0	100.0	△12,247,579	△9.2

国庫支出金は、循環型社会形成推進交付金で、前年度と比較すると2,420千円皆増しました。

繰越金は、前年度繰越金で、収入済額を前年度と比較すると1,637千円（4.5%）減少しました。

諸収入は、余剰電力売払収入、二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金収入等で、前年度と比較すると521,212千円（573.4%）増加しました。これは主に、余剰電力売払収入で23,205千円減少しましたが、二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金収入で539,035千円皆増したためです。

財産収入は、前年度と比較すると2,122千円皆減しました。

3 歳 出

歳出決算額は、次のとおりです。

款	予算現額	支出済額		翌年度 繰越額	不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率			金額	比率
議 会 費	562,000	259,755	46.2	-	302,245	△124,430	△32.4
総 務 費	57,444,000	55,203,749	96.1	-	2,240,251	△33,722,655	△37.9
衛 生 費	2,704,789,000	2,692,630,123	99.6	1,805,000	10,353,877	1,613,169,283	149.4
予 備 費	1,000,000	-	-	-	1,000,000	-	-
計	2,763,795,000	2,748,093,627	99.4	1,805,000	13,896,373	1,579,322,198	135.1

支出済額を予算現額と比較すると、1,805千円を翌年度へ繰り越したことから、不用額は、13,896千円となりました。また、支出済額を前年度と比較すると1,579,322千円（135.1%）増加しました。

議会費は、議員報酬、会議録作成委託料等で、予算現額に対し46.2%の執行率となり、不用額は302千円となりました。また、支出済額を前年度と比較すると124千円（32.4%）減少しました。

総務費の項別決算の状況は、次のとおりです。

項	予算現額	支出済額		不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率		金額	比率
総 務 管 理 費	57,109,000	54,912,029	96.2	2,196,971	△33,755,095	△38.1
選 挙 費	111,000	110,000	99.1	1,000	7,260	7.1
監 査 委 員 費	224,000	181,720	81.1	42,280	25,180	16.1
計	57,444,000	55,203,749	96.1	2,240,251	△33,722,655	△37.9

総務費は、予算現額に対し96.1%の執行率となり、不用額は2,240千円となりました。

支出済額を前年度と比較すると33,723千円（37.9%）減少しました。これは主に、総務管理費の積立金で36,774千円皆減したためです。

衛生費の目別決算の状況は、次のとおりです。

項・目	予算現額	支出済額		翌年度 繰越額	不用額	対前年度支出済額増減	
		金額	執行率			金額	比率
施設管理運営費	1,067,031,000	1,056,677,123	99.0	-	10,353,877	△16,843,717	△1.6
ごみ焼却施設 管理運営費	618,125,000	613,749,372	99.3	-	4,375,628	△20,718,971	△3.3
リサイクルプラザ 管理運営費	416,558,000	411,424,021	98.8	-	5,133,979	1,712,169	0.4
北後志サイクルセンター 管理運営費	32,348,000	31,503,730	97.4	-	844,270	2,163,085	7.4
基幹的設備改良工事費	1,637,758,000	1,635,953,000	99.9	1,805,000	-	1,630,013,000	27,441.3
ごみ焼却施設 改良工事費	1,637,758,000	1,635,953,000	99.9	1,805,000	-	1,630,013,000	27,441.3
計	2,704,789,000	2,692,630,123	99.6	1,805,000	10,353,877	1,613,169,283	149.4

衛生費は、予算現額に対し99.6%の執行率となり、1,805千円を継続費逐次繰越として翌年度へ繰り越したことにより、不用額は10,354千円となりました。

支出済額を前年度と比較すると1,613,169千円（149.4%）増加しました。これは主に、ごみ焼却施設管理運営費の委託料で11,587千円減少しましたが、ごみ焼却施設改良工事費の工事請負費で1,618,573千円皆増し、委託料で11,440千円増加したためです。

4 財 源 内 訳

科目別の財源内訳は、次のとおりです。

科 目	歳出決算額	充 当 財 源								
		特 定 財 源						一 般 財 源		
		使用料及び 手数料	国庫支出金	繰越金	諸収入	財産収入	計	金 額	歳出決算額 に対する割合	
円	円	円	円	円	円	円	円	%		
議 会 費	259,755	-	-	-	-	-	-	259,755	100.0	
総 務 費	55,203,749	-	-	-	12,726	-	12,726	55,191,023	99.9	
衛 生 費	2,692,630,123	120,783,727	2,420,000	46,000	612,089,892	-	735,339,619	1,957,290,504	72.7	
施設管理運営費	1,056,677,123	120,783,727	2,420,000	-	69,704,135	-	192,907,862	863,769,261	81.7	
ごみ焼却施設 管理運営費	613,749,372	110,069,159	-	-	45,817,810	-	155,886,969	457,862,403	74.6	
リサイクルプラザ 管理運営費	411,424,021	10,714,568	2,420,000	-	16,732,302	-	29,866,870	381,557,151	92.7	
北後志リサイクルセンター 管理運営費	31,503,730	-	-	-	7,154,023	-	7,154,023	24,349,707	77.3	
基幹的設備改良工事費	1,635,953,000	-	-	46,000	542,385,757	-	542,431,757	1,093,521,243	66.8	
ごみ焼却施設 改良工事費	1,635,953,000	-	-	46,000	542,385,757	-	542,431,757	1,093,521,243	66.8	
計	2,748,093,627	120,783,727	2,420,000	46,000	612,102,618	-	735,352,345	2,012,741,282	73.2	
前年度計	1,168,771,429	133,031,306	-	-	90,891,452	2,122,240	226,044,998	942,726,431	80.7	
比較 増減	金額 比率 (%)	1,579,322,198 135.1	△12,247,579 △9.2	2,420,000 皆増	46,000 皆増	521,211,166 573.4	△2,122,240 皆減	509,307,347 225.3	1,070,014,851 113.5	ポイント △7.5

科目別の財源内訳を前年度と比較すると、特定財源で509,307千円（225.3%）、一般財源で1,070,015千円（113.5%）それぞれ増加しました。

なお、本年度の歳出決算額に対する一般財源の割合は73.2%で、前年度と比較すると7.5ポイント低下しました。

5 性 質 別 経 費

性質別経費の推移は、次のとおりです。

区 分	6年度	5年度	比較増減		4年度	3年度	2年度
			金額	比率			
	千円	千円	千円	%	千円	千円	千円
人 件 費	87,167	99,591	△12,424	△12.5	105,666	100,921	100,817
物 件 費	1,019,426	1,022,348	△2,922	△0.3	1,168,332	1,080,490	1,052,230
維持補修費	159	638	△479	△75.1	-	349	-
扶 助 費	600	520	80	15.4	600	710	740
補 助 費 等	4,789	2,959	1,829	61.8	2,896	12,213	12,288
普通建設事業費	1,635,953	5,940	1,630,013	27,441.3	-	-	-
公 債 費	-	-	-	-	-	199,856	385,082
積 立 金	-	36,774	△36,774	皆減	46,585	22,642	36,680
計	2,748,094	1,168,771	1,579,322	135.1	1,324,079	1,417,180	1,587,837

6 債 務 負 担 行 為

債務負担行為の状況は、次のとおりです。

事 項	限 度 額	前年度までの支出額		本 年 度 支 出 額	翌年度以降の 支 出 予 定 額	
		期 間	金 額		期 間	金 額
	千円		千円	千円		千円
第2期施設運営・ 維持管理業務委託料	15,620,000	令和4年度 ～ 令和5年度	2,090,828	964,728	令和7年度 ～ 令和18年度	12,539,144

本年度末における翌年度以降の支出予定額は、12,539,144千円となっています。

第4 資金収支の状況

月別の資金収支の状況は、次のとおりです。

区 分	収 入		支 出		残 高		
	収 入 額	(運用額・ 一時借入金)	支 出 額	(運用等償還額)	月末収支残高	(運用等の残額)	
	円	円	円	円	円	円	
6年 4月	117,001,875	(-)	98,078,465	(-)	18,923,410	(-)	
5月	100,297,094	(-)	89,579,609	(-)	29,640,895	(-)	
6月	143,968,940	(-)	102,770,498	(-)	70,839,337	(-)	
7月	101,855,805	(-)	90,529,697	(-)	82,165,445	(-)	
8月	95,756,167	(-)	90,203,665	(-)	87,717,947	(-)	
9月	96,985,220	(-)	88,378,967	(-)	96,324,200	(-)	
10月	98,507,677	(-)	86,236,330	(-)	108,595,547	(-)	
11月	94,169,943	(-)	89,453,861	(-)	113,311,629	(-)	
12月	107,669,744	(-)	99,974,215	(-)	121,007,158	(-)	
7年 1月	96,467,353	(-)	91,154,039	(-)	126,320,472	(-)	
2月	94,326,074	(-)	93,992,324	(-)	126,654,222	(-)	
3月	1,611,764,575	(-)	89,493,122	(-)	1,648,925,675	(-)	
出納 整理 期間	4月	17,733,909	(-)	1,638,248,835	(-)	28,410,749	(-)
	5月	563,532	(-)	-	(-)	28,974,281	(-)

(注) 括弧書きの数値は、収入額、支出額、月末収支残高それぞれの内数です。

収入額の主なものは、市町村負担金で、協定に基づき毎月納入されています。

また、支出額を月別で見ると、出納整理期間の4月は、基幹的設備改良工事費の工事請負費等の支払があったため支出額が大きくなっています。

なお、一時借入金は、予算で定めた最高額100,000千円に対し、借入れはありませんでした。

第5 財産の状況

財産の状況は、次のとおりです。

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高	評価価格又は取得価格
公 有 財 産	土 地	m ² 52,826.00	m ² -	m ² 52,826.00	千円 101,962
	ごみ処理施設敷地	52,826.00	-	52,826.00	101,962
	建 物	27,806.79	-	27,806.79	7,072,353
	北しりべし広域クリーンセンター	27,140.14	-	27,140.14	6,928,478
	搬入用計量棟	182.87	-	182.87	67,241
	搬出用計量棟	77.90	-	77.90	30,767
	スラッグストックヤード棟	123.12	-	123.12	31,428
	北後志リサイクルセンター	198.92	-	198.92	14,439
	北後志リサイクルセンターびん等保管棟	83.84	-	83.84	
基 金	運 営 資 金 基 金	円 490,062,843	円 -	円 490,062,843	

本年度は、公有財産（土地及び建物）及び基金の増減はありませんでした。

第6 ごみ処理の状況

北しりべし広域クリーンセンター（ごみ焼却施設・リサイクルプラザ）及び北後志リサイクルセンターのごみ処理状況の推移は、次のとおりです。

名 称	種 類		6年度	5年度	比較増減		4年度	3年度	2年度	
			トン	トン	トン	%	トン	トン	トン	
北しりべし広域 クリーンセンター	ごみ焼却施設	可燃ごみ	搬入量	31,860.81	34,169.36	△2,308.55	△6.8	35,451.27	35,609.57	35,900.69
		リサイクルプラザ	不燃ごみ	搬入量	4,465.51	4,586.61	△121.10	△2.6	4,847.63	4,920.15
	粗大ごみ		資源化量	260.57	278.15	△17.58	△6.3	275.59	295.87	312.73
	資源物		搬入量	2,944.79	3,058.64	△113.85	△3.7	3,173.15	3,259.35	3,321.15
			資源化量	2,661.89	2,754.24	△92.35	△3.4	2,843.94	2,897.31	2,905.43
	北後志リサイクルセンター	資源物	搬入量	850.30	913.65	△63.35	△6.9	996.81	1,028.82	1,039.54
資源化量			835.57	886.40	△50.83	△5.7	980.89	1,006.11	1,012.90	

市町村別のごみ搬入量は、次のとおりです。

名 称		小樽市	積丹町	古平町	仁木町	余市町	赤井川村	計	
北しりべし広域 クリーンセンター	ごみ焼却施設	本年度(トン)	26,494.09	350.32	541.76	542.52	3,779.84	152.28	31,860.81
		前年度(トン)	28,654.51	372.73	575.66	544.02	3,867.87	154.57	34,169.36
		比較増減(%)	△7.54	△6.01	△5.89	△0.28	△2.28	△1.48	△6.76
	リサイクルプラザ	本年度(トン)	7,334.90	5.21	7.61	9.43	49.15	4.00	7,410.30
		前年度(トン)	7,563.04	6.07	8.25	10.58	53.03	4.28	7,645.25
		比較増減(%)	△3.02	△14.17	△7.76	△10.87	△7.32	△6.54	△3.07
北後志リサイクルセンター	本年度(トン)		56.69	75.44	73.39	612.02	32.76	850.30	
	前年度(トン)		62.89	79.93	79.04	657.40	34.39	913.65	
	比較増減(%)		△9.86	△5.62	△7.15	△6.90	△4.74	△6.93	
計	本年度(トン)	33,828.99	412.22	624.81	625.34	4,441.01	189.04	40,121.41	
	前年度(トン)	36,217.55	441.69	663.84	633.64	4,578.30	193.24	42,728.26	
	比較増減(%)	△6.60	△6.67	△5.88	△1.31	△3.00	△2.17	△6.10	

第7 意 見

決算の概要は、前述のとおりですが、区域内人口の減少等の影響により、全体的にごみの搬入量の減少傾向が続いていることから、ごみ焼却処理手数料などの手数料は、前年度と比較すると減少しました。しかし、ごみ焼却施設の省エネルギー対策を盛り込んだ工事に伴い、二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金収入が皆増したことから、諸収入が前年度との比較で大幅に増加し、特定財源の合計では、前年度を上回る結果となりました。

また、本年度は、「北しりべし広域クリーンセンターごみ焼却施設長寿命化総合計画」に基づき、ごみ焼却施設の延命化工事に着手しました。

本年度の決算においては、実質収支で黒字を確保したものの、今後も処理手数料などの財源確保が難しくなるものと思料いたします。また、ごみ焼却施設及びリサイクルプラザの基幹的設備改良に伴う事業費の増加が見込まれますので、各施設の管理運営に当たっては、引き続き関係市町村と連携を図りながら、計画的な施設改良を実施するとともに、効率的な財政運営に努められ、北後志地域における一般廃棄物の適正かつ安全な処理を維持されますことを期待いたします。